



前南進路だより

R7・第3号 5月15日発行

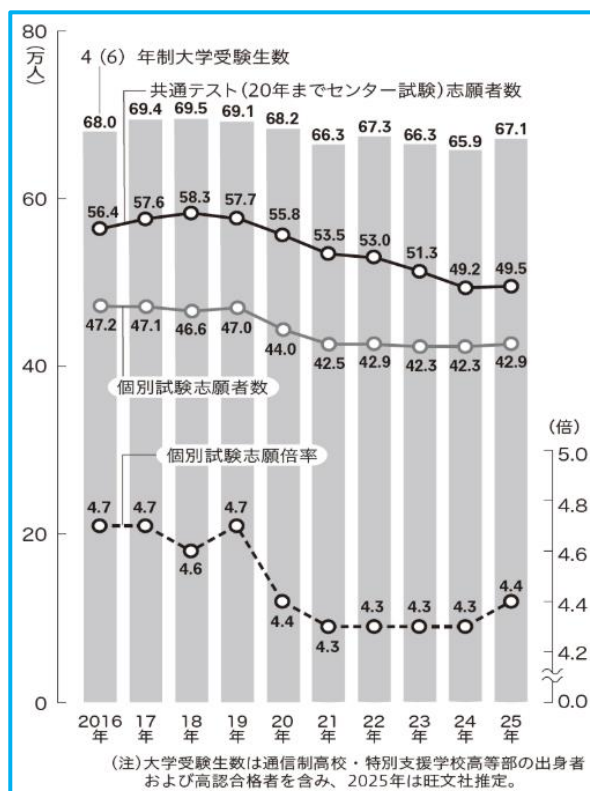
1、令和7年度・平常時補習計画表について

先日、『令和7年度・平常時補習計画表』をクラッシーで配信をし、そして、前南進路だより・第1号でも掲載し、今年度の～本校生徒の『主体性』を高める12項目～【生徒の『主体性』を育成する『補習』の企画】の一環として、まず年間の平常時補習計画表を各教科・各学年に依頼し、一覧表にまとめてみました。この補習計画表等を確認し、自分が必要と考えられる補習に積極的に参加するとともに、『主体性』を意識し、補習に参加してほしいと思います。

下記の通り、その他にも進路指導に関連する項目がいくつかあります。なるべく生徒に『時間を返す』ことを念頭において、今年度の進路行事の予定も立てました。さっそく、来週から中間考査が行われますので、目標設定と具体的な学習計画を立てるなどのセルフマネジメントを心がけ、実践してほしいと思います。

- ・『考査＆模試＆入試』等に対する生徒の『セルフマネジメント能力』の育成
- ・生徒の『主体性』を育成する『進路指導＆探究活動』
- ・生徒の『自由度の高い時間の有効活用』を支援する『進路指導』
- ・生徒の『主体性』を育成する『補習』の企画
- ・『Classi』等を利用した『個別最適化』した『自主学习』の促進

2、2025年(R7)入試 国公立大入試動向 ※ 旺文社教育情報センター 資料参照 「大学受験生数と国公立大志願者数・志願倍率の推移」

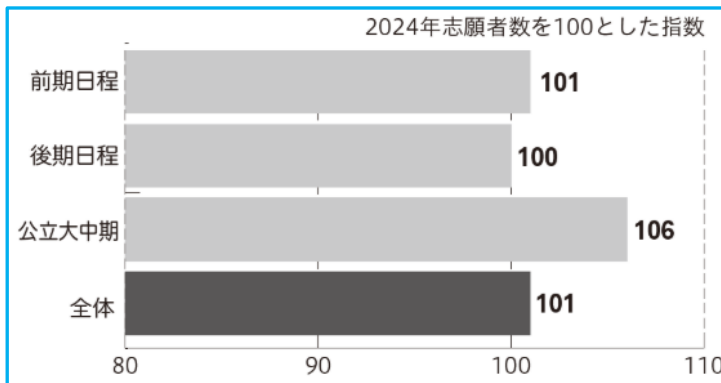


・2025年国公立大入試の「志願者動向」について、一般選抜の志願者数は前年に比べて約1%増

・共通テストは易化した「初志貫徹もやや慎重」な出願傾向が見られ、千葉大・横国大など準難関校が人気

・国公立大一般選抜の確定志願者数は428,501人で、前年に比べて1.2%増加(独自日程は含まず)全募集人員(98,236人)に対する志願倍率は4.4倍で前年に比べ0.1ポイントアップ

「2025 年国公立大入試 日程別志願状況」



【国公立大】

「前期 0.6%増、後期 0.9%減」

【公立大】

「前期 4.2%増、後期 3.1%増」



公立大の人気の集まった

「2025 年 大学入学共通テスト（本試験）科目別平均点」

科目・出題範囲名	受験者数	2025年 平均点	2024年 平均点	前年比	備考
国語	437,209	126.67	116.50	+10.17 △	
地理総合, 地理探究	125,622	57.48	65.74	-8.26 ↓	前年平均点は地理B
歴史総合, 日本史探究	114,599	56.99	56.27	+0.72	前年平均点は日本史B
歴史総合, 世界史探究	69,273	66.12	60.28	+5.84 ↑	前年平均点は世界史B
公共, 倫理	29,042	59.74	56.44	+3.30	前年平均点は倫理
公共, 政治・経済	127,120	62.66	44.35	+18.31 △	前年平均点は政治・経済
数学Ⅰ, 数学A	308,344	53.51	51.38	+2.13	
数学Ⅱ, 数学B, 数学C	285,563	51.56	57.74	-6.18 ↓	前年平均点は数学Ⅱ・B
物理基礎	18,379	24.78	28.72	-3.94	
化学基礎	90,939	27.00	27.31	-0.31	
生物基礎	114,388	31.39	31.57	-0.18	
地学基礎	46,285	34.49	35.56	-1.07	
物理	144,761	58.96	62.97	-4.01	
化学	183,154	45.34	54.77	-9.43 ↓	
生物	57,985	52.21	54.82	-2.61	
英語リーディング	453,668	57.69	51.54	+6.15 ↑	
同リスニング	451,864	61.31	67.24	-5.93 ↓	
情報Ⅰ	279,718	69.26	—	新規	新設科目

(注)大学入試センター発表の最終確定値(1月18・19日の本試験)。／受験者1万人以上の科目を掲載。／経過措置(既卒者対応)の旧課程科目を除く／地歴・公民、[数学Ⅱ, 数学B, 数学C]の2024年平均点は旧課程科目のもの。／理科基礎(2つを選択解答して1科目)は出題範囲別の平均点(50点満点)を掲載。／満点は、国語が200点、理科基礎の各出題範囲が50点、その他が100点。／「前年比」欄の記号は、△=10点以上アップ、↑=5点以上アップ、↓=5点以上ダウン、▼=10点以上ダウンを示す。

・ 共テは、平均点が3年連続で上昇（易化）→ 国公立大の志願者増

・ 【易化】

⇒ 国語、「歴史総合・世界史探究」、「公共、政治・経済」、英語リーディング

⇒ 情報Ⅰ（新科目）… 予想より平易（平均点を押し上げる要因）

・ 【難化】

⇒ 数ⅡBC（数Cが加わった負担感が影響）、英語リスニング、化学

※ 公立大（主に看護・医療系）で数学Ⅰ科目（ⅡBCの影響を受けず）の受験が可能のため、公立大人気の要因

・ 【まとめ】

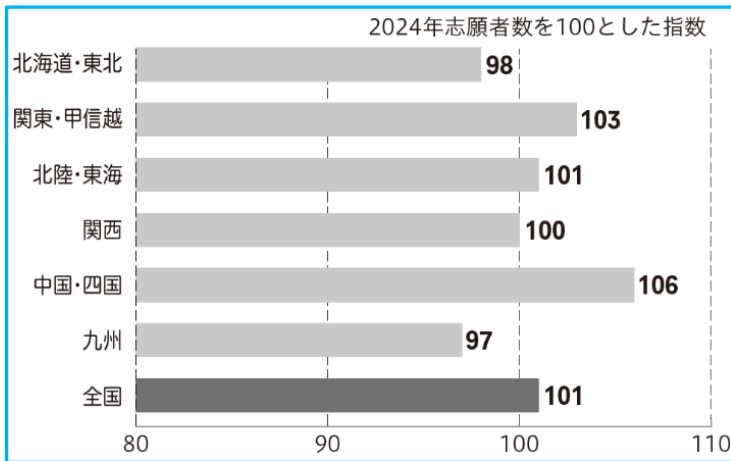
平均点上昇 → やや強気な出願も予想 → 自己採点後のボーダーラインも上がる → **現役志向** →

結果的に「基本は初志貫徹だが、やや慎重」 → 難関校より準難関校の志願者増

→ 中堅校では前年の反動で「国公立→公立大」

→ **物価上昇（家計不安）**で地元出身者が学費で優遇されることが多い公立大の人気上昇

「2025 年 国公立大入試 地区別志願状況」



【遠隔地受験の動きが復活】

- ・東北 → 関東・甲信越へ
- ・九州 → 中国・四国へ

※「国際卓越研究大学」に選ばれた東北大が理系を中心に志願者増



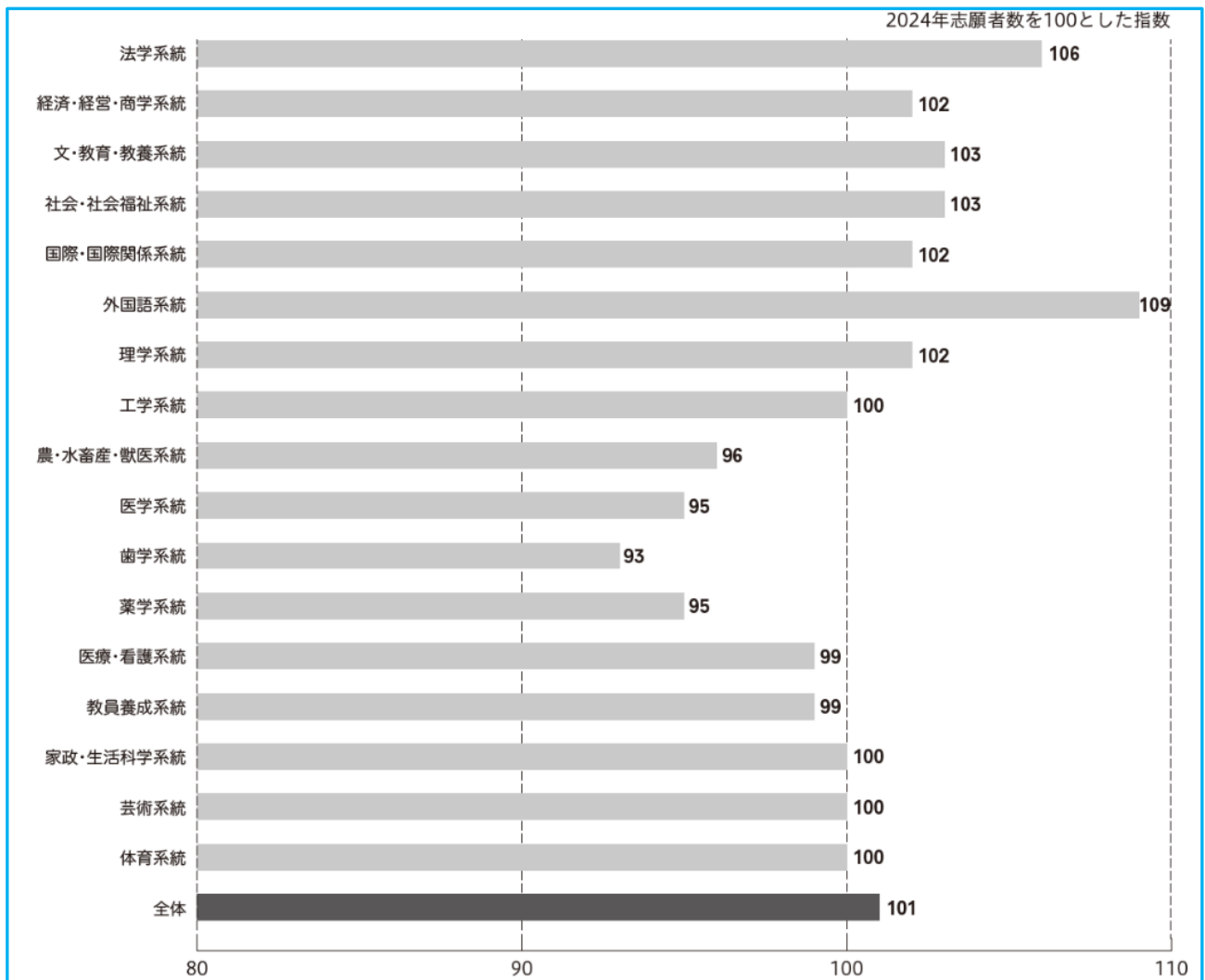
東大・東京科学大などの首都圏の難関大から志望変更が続出

- ・東大（5科類で2段階選抜の予告倍率の引き締めによる志願者減）



埼玉大・千葉大・横浜国立大・東京都立大といった準難関校に人気が集まる

「2025 年 国公立大入試 学部系統別志願状況」



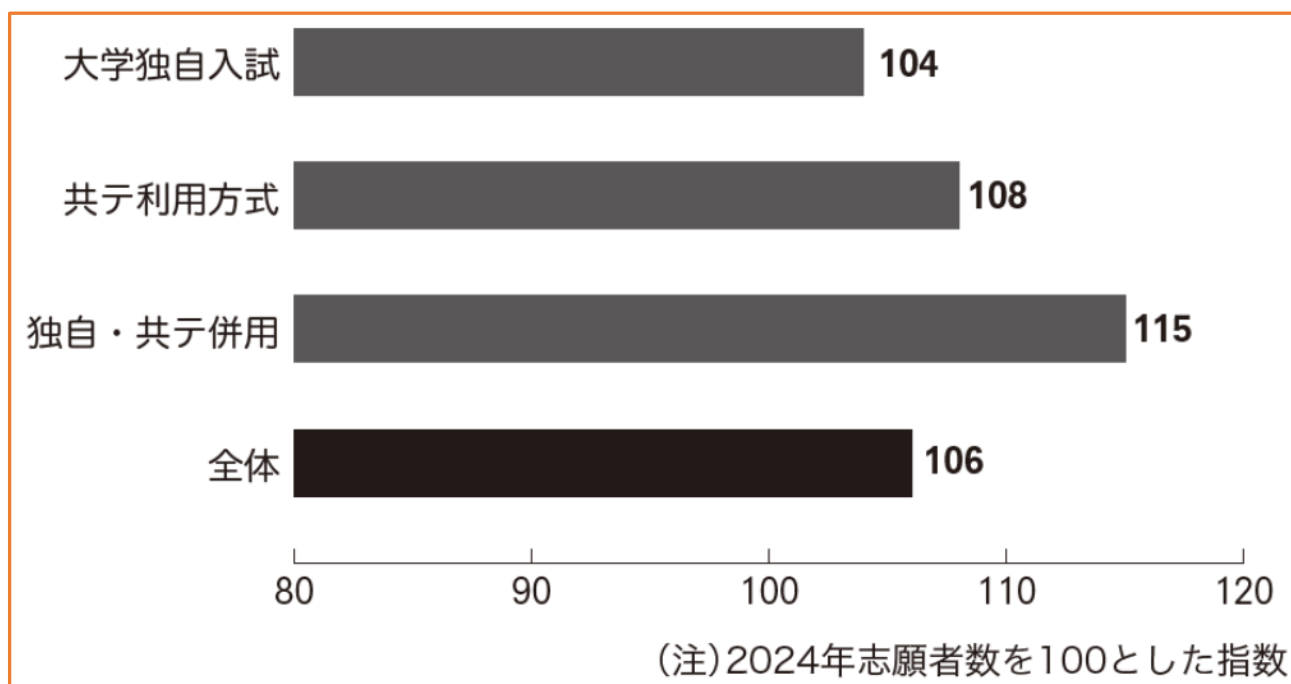
- ・法をはじめ「文高理低」傾向、医・歯・薬・農は志願者減 ⇔ 23年までは「文低理高」（コロナ禍）



就職状況の好転などを背景に、文系のほぼ全ての系統で増加

- ・工は定員増や新增設でやや増加が見込まれたが、結果的には前年並み
- ・教員養成系も減少傾向

「2025 年 私立大一般選抜方式別志願状況（2 月 23 日現在）」



- ・ 志願者数は、前年比 6 % 増 → 近年の易化傾向を見越してチャレンジ志向
- ・ 国公立大の後期縮小 → 大都市圏の難関校人気が高まる、現役志向も強く併願を増やす傾向
- ・ 共テの 3 年連続の平均点アップ → 国公立大志願者の併願も増加

【首都圏の主な私立大の志願状況】

慶應義塾大	7 % 増
早稲田大	7 % 増
青山学院大	8 % 増
学習院大	13 % 増
国際基督教大	32 % 増
中央大	11 % 増
東京理科大	9 % 増
法政大	3 % 増
明治大	6 % 増
立教大	11 % 増
上智大	2 % 減（2 年連続の大幅増の反動）
國學院大	20 % 増
明治学院大	31 % 増
成蹊大	4 % 増
武蔵大	9 % 増
成城大	4 % 増
日本女子大	11 % 増
東京女子大	25 % 減
日本大	21 % 増
駒澤大	5 % 増
東洋大	7 % 増
専修大	7 % 減

以上が、2025 年入試の志願状況を中心にした動向となります。最初に確認しておきたい点は、あくまでも 2025 年入試の動向だということです。現 3 年生（2026 年入試）が、同じような動向になるとは限りません。例えば、

- ①前年度の倍率アップダウンの反動
- ②入試科目の変更、科目数の増減
- ③学部・学科の増設・廃止、募集人員の変更
- ④他大学の「玉突き」

の影響で、志願状況は大きく変化します。そのため、ライバルでもある他の受験生よりも 1 点でも多く得点し、合格のボーダーを超える必要があります。また、志望校の受験科目や配点、自分の長所を生かせる受験方式で受験することも肝心です（進路だより第 2 号参照）。引き続き、このような情報を配信していきますので、受験の参考にしてください。

※ 令和7年度 平常時補習計画表（修正・変更の場合もあり）

対象学年	教科	内容／目標(目的)	実施期間(予定)	実施時間	回数(予定)	内容(予定)	難易度(基礎・標準・応用)
1年	国語	古典文法が苦手な生徒への補助	6月～1月	早朝	18回	授業で扱った古典文法を理解しきれなかった生徒、自信がない生徒に対し、最初に戻って、問題を解きながら解説。	基礎
1年	数学	問題演習と解説	10月～1月	早朝	12回	各単元の教科書の章末問題レベルなどやや難しいレベルの問題演習と解説	応用
1年	英語	英検対策 準2級	10月～1月	早朝	12回	英検準2級対策を目的とした問題演習と解説を行います。10月10日から1月16日までの毎週金曜日(定期考査期間は除く)	標準
2年	数学	進研模試得点アップ	6月～7月	早朝	6回	進研模試の過去問を使い、ターゲットを進研模試に焦点を当てる。また、模試に関連する基礎を押さえることも目的とする。	標準・応用
2年	数学	進研模試得点アップ&共通テスト対策	9月～3月	早朝	28回	進研模試の過去問を使い、ターゲットを進研模試に焦点を当てる。後半からは共通テスト対策に焦点を切り替え、共通テストの問題に取り組む予定。	標準・応用
2年	英語	進研模試得点アップ	6月～7月	早朝	6回	進研模試の過去問を使い、ターゲットを進研模試に焦点を当てる。また、模試に関連する基礎を押さえることも目的とする。	標準・応用
2年	英語	進研模試得点アップ&共通テスト対策	9月～3月	早朝	28回	進研模試の過去問を使い、ターゲットを進研模試に焦点を当てる。後半からは共通テスト対策に焦点を切り替え、共通テストの問題に取り組む予定。	標準・応用
2年	化学	共通テスト対策	11月～3月	早朝	24回	新しい問題に対しても切り崩していく力を高める補習を展開する。	標準・応用
3年	国語	基礎古典	5月～7月	早朝	8～10回	文法・敬語・句法・用字法等の基礎知識の定着	基礎
3年	国語	応用古典	5月～7月	早朝	8～10回	入試過去問を解く。基礎的知識を実践的に用いながら古典の文章の読解を行う。	標準・応用
3年	数学	数学C 複素数平面・式と曲線 (文系対象、理系可)	5月～7月	放課後	8～10回	共通テスト「数学②」の分野「数学Ⅱ・数学B・数学C」の選択問題4問のうちの1分野です。文系の生徒は授業をしていないので、この補習で対応したいと思います。文系対象の最初からの講義になります	基礎・標準
3年	数学	数学B:数列 数学C:ベクトル	5月～12月	早朝	28回	○1学期は基本事項の確認と典型問題(教科書の例題・節末問題レベル)を扱う。2学期は教科書の章末問題・コネクトのCONNECTレベル問題を扱う。 ○ベクトル→数列→ベクトル→数列の順	(基礎～)標準
3年	英語	共通テスト【リーディング】対策 演習／共通テスト7割獲得	5月～12月	放課後	16～20回	共通テストのリーディングでの高得点を目指すための演習を行います。受験済みの模試の解説も予定しています。※6月末頃までは「共通テスト【リスニング】対策」と同日同時時間帯の実施とします。	標準
3年	英語	共通テスト【リスニング】対策 演習／共通テスト7割獲得	5月～12月	放課後	16～20回	共通テストのリスニングでの高得点を目指すための演習を行います。受験済みの模試の解説も予定しています。※6月末頃までは「共通テスト【リーディング】対策」と同日同時時間帯の実施とします。	標準
3年	英語	外部試験対策／ 外部試験合格を目指して	5月～10月	早朝	16回	実用英語技能検定の2級～準1級取得を目指した演習をおこないます。受講者の希望があれば、他の英検対策もします。	標準～応用
3年	化学	入試基礎～標準レベルの力を身につけることを目指します(共通テスト&記述対策)。	通年 (6月～12月)	放課後	20回	毎回テーマを決めて演習&解説を行います。平常補習では「理論分野」と「無機物質の分野」を中心に扱います。「有機化合物の分野」は授業の中で扱います。 ※「補習」と「授業」を組み合わせることで化学の総合力が身につきます。	基礎～標準
3年	物理	共通テスト対策 ／共通テスト平均点獲得	通年 (5月～12月)	早朝	24回	チェック&演習の演習と解説を行います。	標準
3年	生物	共通テスト対策／ 共通テスト平均点獲得	9月～12月	放課後	16回	過去問演習	標準
3年	世界史	共通テストで目標得点達成	9月～12月	放課後	16回	共通テストに向けて、分野別の演習を行う。予習をして臨むことで、知識の定着と応用力を養う。	標準
3年	日本史	共通テストの過去問演習	9～12月	放課後	16回	共通テストの正誤問題を実際に解く(生徒の予習→誤っている文がなぜ誤っているのか、どうすれば正しい内容になるのかを生徒が回答→教科担当による解説)	標準
3年	地理	共通テスト受験者対象 講義と演習①	5～7月	放課後	6回	2年次の地理総合の復習と演習 ※夏季休業中の補習に続きます	標準
3年	地理	共通テスト受験者対象 講義と演習②	9～12月	放課後	16回	地理探究の講義と演習	標準
3年	政治経済	政治分野の基本的事項の 確認と問題演習	6～12月	早朝	20回	主に政治分野を中心に、各単元・テーマのポイントを説明をし、問題演習と解説等を行う予定です。受講者の希望にそって、柔軟なかたちで補習を実施していきます。	基礎(～標準)
3年	情報Ⅰ	共通テスト対策／ 共通テスト平均点獲得	9月～12月	放課後	16回	課題を課してその内容を補習時間内にテストしていく内容です。	標準